ＢＣＬ１１０

酸素イオンクラスタ・空気清浄・脱臭装置

取　扱　説　明　書

はじめに

この度は、酸素イオンクラスタ･空気清浄･脱臭装置をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さいますようお願いたします。

この取扱説明書は、本製品を実際にお使いになるお客様が、いつでも見ることが出来るよう、お手元に大切に保管して下さい。

また、この製品を譲渡されたり貸与される時には、新しくご使用になるお客様が、安全で正しい使い方を知るために、本書を製品に附属してお渡し下さい。

本書の内容に関しては、改良その他の理由により将来予告無しに変更することがあります。
お買い上げの製品または本書の内容に付きまして、ご不明の点などお気づきの事がありましたら、
お買い求めの販売店または当社各営業所までお問い合わせ下さい。

⚠ 安全に関するご注意

ご使用の前に、この「安全に関するご注意」を必ずよくお読みの上、正しくお使い下さい。

▲ カバーを開けた場合は、電源スイッチを「切」にすると共に、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、運転中は絶対にカバーを開けないで下さい。
内部に高電圧部があり、感電の危険があります。

▲ コンクリート上に落下させるなどの大きな衝撃が加わったり、多量の水を被ったり、たとえ小量でも内部に水が入ったりした時はすぐ使用を中止し、販売店または当社にご相談下さい。
内部に高電圧部があり、感電・漏電の危険があります。また、内部が焼損したりガラス製の酸素イオンクラスタ生成管が破損することがあります。

▲ アース配線を行って下さい。（D種接地を行って下さい。）
感電事故を防止します。
＊アースの接続に付いて不明の時はお近くの電気工事店にご相談下さい。

▲ 電源プラグ、コンセント及び本体を水で濡らしてはいけません。
感電事故及び漏電事故の原因となります。

▲ 可燃性のガスのある所、またはある可能性のある所では使用しないでください。
火災の原因に成る場合があります。

▲ 本器は風通しの良い所に設置してご使用下さい。

▲ 本器は微量のオゾンガスを発生します。
本器の使用中、次の異常を感じた時は、ただちに本器の電源を切り、換気をして下さい。
強いオゾン臭を感じた時
頭痛、目にチカチカを感じた時
（参考）
- オゾンの作業環境基準：0.1ppm（日本産業衛生学会の勧告による）
- 密閉された狭い部屋で本器を運転した場合、1時間で0.1ppm以上になる事が有ります。
- 嗅覚の敏感な人は、0.02ppm位の濃度でオゾン臭を感じます。

▲ 酸素クラスタ発生量調節ツマミを廻して酸素イオンクラスタ発生量を変えるとオゾンガス濃度が変化します。操作は細心の注意をはらって行って下さい。

▲ 高価な品物の置いてある部屋では使用しないで下さい。発生したオゾンガスの影響で劣化する場合があります。

▲ この取扱説明書に書かれていない使用方法を行う場合に必要な安全に対する配慮は、全てご自分の責任でお考えください。

取付方法

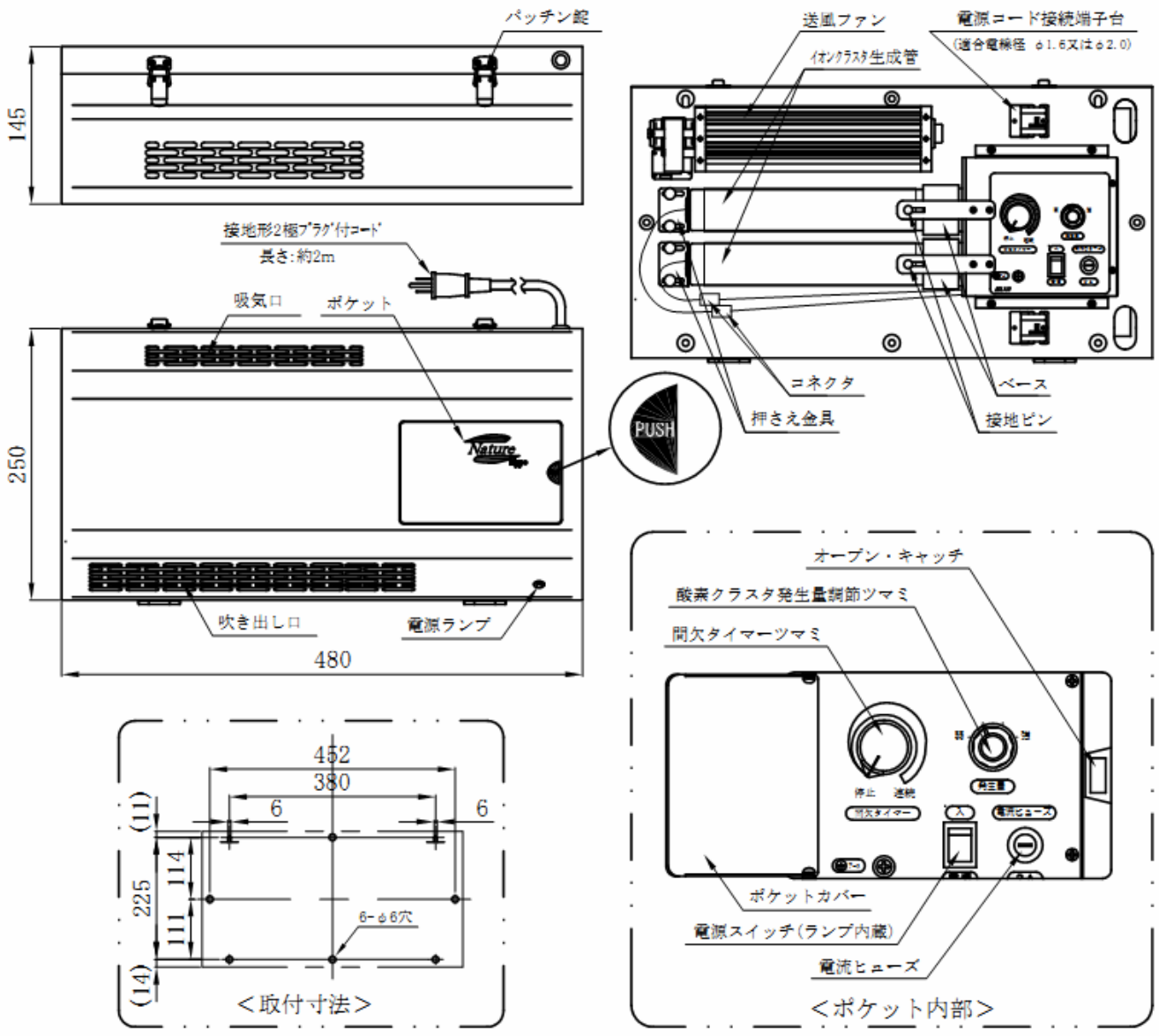
⚠ 警　　告

▲ 本製品は防爆仕様ではありません。爆発雰囲気(可燃ガス・金属粉砕工場等)では使用しないで下さい。爆発，火災等の重大な事故の原因になります。

▲ 取り付けは本器の重量を考慮して取り付け場所を決定して下さい。

- この酸素イオンクラスタ発生器は周囲温度０～４０℃、相対湿度７０％ＲＨ以下の屋内環境でご使用下さい。
- 振動衝撃の少ない場所をお選び下さい。
- 水滴、油末、ほこり及び腐食性ガスを避けてください。
- 取り付けの際は本器の重量を考慮して設置して下さい。
- １０ｃｍ以上周囲の物から離して下さい。また、吸気口や吹き出し口をふさがないで下さい。

各部の名称



使い方

⚠ 警　　告

▲ 本器は微量のオゾンガスを発生します。
密閉された狭い部屋で運転した場合、1時間で0.1ppm以上になる事が有ります。
使用中、次の異常を感じた時は、ただちに本器の電源を切り、換気をして下さい。
・強いオゾン臭を感じた時
・頭痛、目にチカチカを感じた時

① ポケットカバーの開け方
ポケットカバーの (PUSH) を押すとオープン・キャッチが少し飛び出してポケットカバーの右端が開きます。飛び出した部分を手前に引くとポケットカバーが開きます。

② ポケットカバーの閉め方
ポケットカバーをオープン・キャッチに着けて (PUSH) を押すとオープン・キャッチが引込みポケットカバーが閉じます。

③ 運転
・ 電源プラグを接地形コンセントに差し込みます。
接地形コンセントでない場合は，接地アダプターを使用してアース配線を行ってください。
・ ポケットカバーを開けます。
ポケット内には電源スイッチ，酸素クラスタ発生量調節ツマミ，間欠タイマーツマミが有ります。
酸素イオンクラスタ発生量は「弱」～「強」の４段階調節できます。
間欠タイマーはツマミを「連続」の位置にすると酸素イオンクラスタを連続して発生します。
「停止」の位置にすると酸素イオンクラスタの発生が停止します。
「停止」～「連続」の間では，ツマミの位置に応じて発生時間が約 0 秒(停止)～約 30 秒(連続) の間で変わります。
設置する部屋の大きさに応じて酸素イオンクラスタ発生量調節ツマミや間欠タイマーツマミを回して酸素イオンクラスタ濃度を最適な状態に調節して下さい。
・ 電源スイッチを「入」にします。電源スイッチに内蔵されたランプと本体下部の電源ランプが点灯して，ファンが回り酸素イオンクラスタの発生が始まります。
・ ポケットカバーを閉じます。

保守・点検

⚠ 警　　告

▲ 内部は高電圧が発生していて危険です。
カバーを開けた場合は、電源スイッチを「切」にすると共に、電源プラグを
コンセントから抜いてください。

▲ 酸素イオンクラスタ生成管はガラス製です。取扱いは慎重に行ってください。
酸素イオンクラスタ生成管の取り外し、取り付の際は、金網の部分をつかまず
酸素イオンクラスタ生成管根元のベース(樹脂の部分)をつかんで回して下さい。

▲ 接地ピンを手前に引いた状態で放さないで下さい。
酸素イオンクラスタ生成管に当たると管が壊れる事があります。

⚠ 注　　意

▲ 作業を行う時は指輪や腕時計などの貴金属類を外して行ってください。
ショートや感電の原因になります。また，必要に応じて手袋等を着けて行ってください。

▲ ヒューズを交換する場合は本器指定の物をご使用下さい。

▲ 酸素イオンクラスタ生成管を清掃する時，酸素イオンクラスタ生成管やコネクタを絶対に水に浸けないで下さい。故障の原因になります。

▲ 酸素イオンクラスタ生成管・金網筒は乾燥していることを確認して，酸素イオンクラスタ発生器に取り付けて下さい。

▲ 清掃に際してシンナー、アルコール、ベンジン等の溶剤を使用しますと筐体などが変質する事が有りますので，絶対に使用しないで下さい。

酸素イオンクラスタ生成管は使用中に空気中の埃が付着します。埃の付着量が多くなると，イオン化が弱くなり酸素イオンクラスタの発生量が減衰すると共に管の寿命が短くなります。
また，送風ファンの羽根車に埃が付着した状態で使用されると故障の原因になります。
定期的に酸素イオンクラスタ生成管や送風ファンの羽根車に付着した埃を落とすなど，清掃をして下さい。
酸素イオンクラスタ生成管は消耗品です。適切なメンテナンスを行った場合の寿命は約２年です。
設置環境にもよりますが，送風ファンの交換が必要になる場合があります。

酸素イオンクラスタ生成管の取り外し方

１、ポケットカバーを開けて電源スイッチを「切」にしてポケットカバーを閉じます。

２、電源プラグをコンセントから引き抜きます。

３、本体上部の左右にパッチン錠がついています。手前側を押し上げるとパッチン錠が外れます。
フックを奥の金具から外してカバーを手前に開けます。

３、接地ピンを手前に引いて酸素イオンクラスタ生成管から離し、右方向へスライドさせて
固定します。

４、コネクタのボディーを左右に引っ張って外します。絶対にコードを引っ張らないで下さい。

５、押さえ金具の留めネジを緩めて左方向へスライドさせます。

６、酸素イオンクラスタ生成管のベースをつかんで回し、ネジを緩めて取り外します。

酸素イオンクラスタ生成管の取り付け方

1、ポケットカバーを開けて電源スイッチを「切」にしてポケットカバーを閉じます。

2、電源プラグをコンセントから引き抜きます。

3、本体上部の左右にパッチン錠がついています。手前側を押し上げるとパッチン錠が外れます。
フックを奥の金具から外してカバーを手前に開けます。

3、酸素イオンクラスタ生成管のベースをつかんで回してネジ込みます。

4、押さえ金具を酸素イオンクラスタ生成管の頭部の樹脂の部分に合せて留めねじを締めます。

5、コネクタのボディーを差し込みます。

6、接地ピンを左方向へスライドさせて酸素イオンクラスタ生成管に接触するようにピンを
押し込みます。

7、カバーを閉じ、左右のパッチン錠を掛けます。

8、電源プラグをコンセントに差し込みます。

9、ポケットカバーを開けて電源スイッチを「入」にしてポケットカバーを閉じます。

酸素イオンクラスタ生成管の清掃方法

⚠ 注　意

▲ 酸素イオンクラスタ生成管は絶対に水に浸けないで下さい。
▲ 濡れた状態で酸素イオンクラスタ生成管を取り付けないで下さい。
▲ 金網筒をとりはずす時，金網を破かないように注意してください。

・金網筒を外す場合は金網筒を回しながらゆっくり生成管から抜き取ってください。
・酸素イオンクラスタ生成管はよく絞った布で汚れを拭き取ってください。
・汚れがひどい場合は中性洗剤液で拭き取ってください。
・金網筒は中性洗剤を浸けたスポンジでこすりながら洗うときれいになります。
・酸素イオンクラスタ生成管は必ず乾燥させてから取り付けて下さい。

送風ファンの清掃方法

・羽根車に無理な力が掛からないように注意してください。
・羽根車に付着した埃は刷毛や筆で落とすか，エアーダスターなどで吹き飛ばして下さい。

異常を感じた場合

異 常 現 象	点　検	処　　置
電源を入れても 電源ランプが点灯しない または、酸素クラスタが 発生しない	ヒューズ	ヒューズが切れていたら 同定格のものに交換(AC125V,2A)
		ヒューズが切れていない場合は 修理に出す。
焼け焦げ等の異臭 火花の発生が見える		直ちに電源コードを抜いて 修理に出す。
運転中に異常音や振動がある 回転が遅いまたは不規則	送風ファン	送風ファンを清掃する。 清掃しても直らない時は交換が必要です。販売店にご相談下さい。

主な保守部品

名　　称	規　　格	備　　考
ガラス管ヒューズ	ＡＣ１２５Ｖ，２Ａ	φ5.2×L20
酸素イオンクラスタ生成管	ＩＲＤ－Ｈ	
送風ファン		交換は販売店にご相談下さい。

仕　様

名　称		Ｎａｔｕｒｅ	
商品コード		BCL110-00	BCL110-02
定 格 電 源		ＡＣ１００Ｖ，５０／６０Ｈｚ	
電源電圧範囲		AC９０～１１０Ｖ	
消 費 電 力		３０Ｗ	２３Ｗ
周 囲 温 度	稼動時	０～４０℃	
	保管時	－１０～５５℃(但し,氷結しないこと)	
周 囲 湿 度	稼動時	７０％ＲＨ以下(但し,結露しないこと)	
	保管時	８５％ＲＨ以下(但し,結露しないこと)	
電 源 コード		接地形 2 極ﾌﾟﾗｸﾞ付ｺｰﾄﾞ(灰色) 長さ約 2m	
質　量		約 8.5kg	約 8.2kg
生 成 管 の 数		IRD-H 管　２本	IRD-H 管　１本
放 電 電 圧		約AC2700V(生成量最大の時)	
生 成 量 切 替		４段階	
間 欠 タイマー		周期約３０秒	

保証期間及び保証範囲

納入品の保証条件につきましては、見積書、契約書、カタログ、仕様書等に別段の定めのない場合、次の通りとさせていただきます。

１．保証期間

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後１ヶ年といたします。

２．保証範囲

上記期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、または修理を納入者側の責任において行います。

但し、次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

(1)需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。
(2)故障の原因が納入品以外の事由による場合。
(3)納入者以外の改造、または修理による場合。
(4)その他天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。

尚、ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

発売元
nippo
株式会社 ニッポー

■ 本　　社　埼玉県川口市川口 2-13-20　TEL 048-253-2788
■ 東京営業所　埼玉県川口市川口 2-13-20　TEL 048-255-0066
■ 名古屋営業所　名古屋市中川区澄池町 9-12　TEL 052-361-8123
■ 大阪営業所　大阪市北区鶴野町 4 番 ｺｰﾌﾟ野村梅田 A-223　TEL 06-6375-2201
■ 島根営業所　島根県仁多郡奥出雲町下横田 750-1　TEL 0854-52-2478